

JAL×別府市×APU

産学官でインバウンド、スポーツ、食の振興に取り組む 包括連携協定を結びます

2017年7月24日(月) 協定書調印式 10:00~11:00

別府市役所1階 レセプションホール(大分県別府市上野口町1-15)

日本航空株式会社(本社:東京都品川区、社長:植木 義晴、以下「JAL」)と別府市(所在地:大分県別府市、市長:長野 恭紘、以下「別府市」)及び立命館アジア太平洋大学(所在地:大分県別府市、学長:是永 駿、以下「APU」)は、包括連携協定を締結します。

これは、人的・知的資源の交流と活用をはかり、観光・スポーツ・食の分野において相互に協力しながら進めるもので、三者一体となり温泉観光都市として磨きをかけ発信することで海外からのインバウンドの拡大を促進、また交流人口拡大へ寄与することを目指します。

JALと別府市及びAPUは、今後もこの連携協定を通じ、それぞれが持つ物的・人的・知的資源を有効に活用し、地域全体の活性化および教育・研究に寄与する取り組みを積極的に行ってまいります。

包括連携協定概要

- (1) 観光、インバウンド誘致に関すること。
具体的な検討事項: JAL国際線機内で上映する自治体PR動画などのコンテンツ制作にAPU学生が協力、別府市やAPUへ海外からのインバウンドを促すためのファムトリップにJALが支援する枠組みなどを検討し進める。
- (2) スポーツ振興・合宿誘致に関すること。
具体的な検討事項: 既実施のJALとAPUラグビー部の合同合宿の継続、JALが検討している地域の子供対象のラグビー大会への学生の協力連携を進める。
- (3) 食の振興に関すること。
具体的な検討事項: JAL国内線ファーストクラスで採用した大分県内成棚田の米のブランド化にAPUの教員や学生の協力連携を進める。
- (4) その他、相互の活性化に関すること。
上記(1)~(3)以外の取組みで3者に有益な企画などを進める。

調印式

日時	2017年7月24日(月) 10:00~11:00
場所	別府市役所 1F レセプションホール
調印式代表者	別府市長 長野 恭紘(ながの やすひろ) 立命館アジア太平洋大学 今村 正治(いまむら まさはる) JAL九州・山口地区支配人 溝之上 正充(みぞのうえ まさみつ)